ランチョンセミナー4

演題名	健康寿命の延伸のためにできること ～経口栄養サポート（ONS）の効用について～
------------	--

概要
<p>日本人の平均寿命が延びる一方で、超高齢社会への対策が急務となっている。その中でも、「平均寿命」と「健康寿命」とのギャップがクローズアップされるようになっており、できるだけそのギャップを短縮し、高齢者がより長く高いQOLで生活を送れるよう、また、より長い期間「現役」として、日本経済に貢献できる体制づくりをすることが必要になっている。しかしながら実際には、高齢化に伴う「食の不健康」による栄養不良が、結果として高齢者の体重（筋肉）減少、QOL低下を招き、健康寿命を短縮している現実がある。</p> <p>当講演では、在宅医療の現場においても簡単に高齢患者の栄養不良リスクを評価できる MUST（Malnutrition Universal Screening Tool）を使って、積極的に早い段階から経腸栄養剤の経口摂取を進めることにより、患者のQOL向上を目指す私たちのチームの取り組みを紹介する。これまで栄養管理については、病院環境を念頭に置いたNST活動を中心に論ぜられることが多かったが、在宅医療の現場においても多職種でできる簡便な方法を導入することで、超高齢社会の到来に向けた栄養介入の在り方について一石を投じられれば幸いである。</p>